

1. 専攻の概要

グローバル化が進展するこれからの日本社会にあって、国際社会に対する正しい知見に基づいた国際友好の進展は、不可避的条件である。国際社会の最大の目標である「共生」に至る道を探るために、「国際協力と国際交流」（文化・経済・環境政策面での国際協力と国際交流）、「現代社会と文化」（各国・各地域の文化的多様性と社会の調和）、「現代社会とこども」（教育的な面からの現代社会とこどもの関わり）という三分野を設定している。国際社会システム研究科国際社会システム専攻は、国際的視点のもとに研究を進展させ、これら三分野にわたる総合的知見を身につけた研究を進展させることで、高度な職業的専門人を育成することを教育目的としている。

2) 「現代社会と文化」の地域振興を主たる研究分野とした学生の場合

(1) 入学までのプロセス

本学現代社会学部社会システム学科に入学し、中学校社会科、高等学校地理歴史科および公民科の教員免許を取得。卒業研究では、「特別支援学校の地理的立地状況の変遷について」研究し、さらに研究をすすめたいと大学院に進学。

(2) 修了後の進路

大阪府の中学校教員採用試験に合格し、社会科の教員として教鞭に立っている。

履修モデル「現代社会と文化」分野 + 公民専修免許取得

科目区分	1 年次		2 年次	
	科目名	単位数	科目名	単位数
A 類	現代社会システム特殊演習 A I	2	現代社会システム特殊演習 B I	2
	現代社会システム特殊演習 A II	2	現代社会システム特殊演習 B II	2
	現代社会システム特殊演習 D I	2	現代社会システム特殊演習 E I	2
	現代社会システム特殊演習 D II	2	現代社会システム特殊演習 E II	2
	国際交流と社会システム特殊演習 A I	2		
	国際交流と社会システム特殊演習 A II	2		
	国際交流と社会システム特殊演習 D I	2		
	国際交流と社会システム特殊演習 D II	2		
B 類	比較宗教学特論 I	2	国際交流と社会システム特論 I	2
	比較宗教学特論 II	2	国際交流と社会システム特論 II	2
	国際観光文化特論 I	2		
	国際観光文化特論 II	2		
単位数		24		12